

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

本授業では、学校教員の実務経験を活かし、小学校算数科の内容について講義する。現行の学習指導要領において、小学校算数科には「A 数と計算」「B 図形」「C 測定」「C 変化と関係」「D データの活用」という5つの領域があるが、それぞれの領域には内容の系統性が存在する。それを、「教える立場」から概観し、子どもが示す学習上の困難点を講義する。また、「算数をつくる」という立場に立つことで、算数の学び方や内容の系統性を指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション、整数の概念と表記
第 2 回	整数の加法・減法
第 3 回	整数の乗法・除法
第 4 回	小数・分数の加法・減法
第 5 回	小数・分数の乗法・除法
第 6 回	整数・有理数・実数と計算
第 7 回	式の表現と意味、見積もりと概数・概算
第 8 回	図形の概念と操作
第 9 回	図形の計量：面積・体積、図形の学習水準論
第 10 回	量の概念と測定
第 11 回	長さ・重さ・時間と時刻
第 12 回	伴って変わる2つの数量の関係
第 13 回	2量の割合
第 14 回	統計の考え
第 15 回	データの考察
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・教える立場から小学校算数科の内容を捉え直し、指導上の困難点を理解することができる。
- ・「算数をつくる」という立場に立ち、小学校算数科の内容の系統性を理解することができる。

履修上の注意

- ・本授業では、しばしば問題演習を取り入れるが、その際一人で取り組むだけでなく、少人数またはグループによるディスカッションも適宜促す。「問題が解ける・解けない」という点だけでなく、主体的・対話的で深い学びを行うという観点から、自身の学びを見つめ直してもらいたい。
- ・授業開始から20分経過後に入室した学生は遅刻とみなす。なお、公共交通機関の遅延による遅刻はその限りではない。2回の遅刻で1回分の欠席とカウントするので、注意すること。

予習・復習

- ・予習：テキストの該当箇所を読む
- ・復習：授業で学んだことをノートにまとめる、解けなかった問題を改めて解き直す

評価方法

- ・リアクションペーパー(15%)
- ・レポート課題(35%)
- ・筆記試験(50%)

テキスト

- ・教科書名：新版 算数科教育研究
- ・著者名：算数科教育学研究会(編)
- ・出版社名：東洋館出版社
- ・出版年(ISBN)：2019年(978-4-491-03681-6)

その他、必要に応じて、文献や資料を示す。